

継立中学校跡地施設活用事業予定者について

継立中学校跡地施設の活用事業予定者を公募していましたが、「継立中学校跡地活用事業者選考委員会」における審査結果をもとに、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

1. 募集及び選考の経過

- (1) 応募事業者数 1事業者（町外事業者）
- (2) 事業提案内容 校舎及びグラウンドを利活用した山羊・めん羊のふれあい牧場、加工・販売、体験実習、簡易宿泊設備、レストランなどの事業展開
- (3) 応募・審査日程・経過

月 日	内 容
6月8日	第1回選考委員会
6月29日	第2回選考委員会
9月23日～10月28日	応募書類受付開始（応募 1事業者）
10月11日	現地見学会（参加 1事業者）
11月2日	第3回選考委員会
11月21日	第4回選考委員会
11月24日	第5回選考委員会（プレゼンテーション・ヒアリング）
12月7日	第6回選考委員会（活用事業予定者選考）
12月8日	選考委員会より報告書提出
12月13日	活用事業予定者決定

2. 審査の方法

- (1) 資格審査
応募事業者から提出された申込書類を基に、資格審査と書類不備の確認などを実施。
- (2) プレゼンテーション及びヒアリング
応募事業者より提案内容についての説明を受け、その後ヒアリングを実施。
- (3) 総合審査
申込書類、プレゼンテーション及びヒアリング、アドバイザーによる資金計画書等の分析報告を基に、総合的に審査・採点。

各委員100点を持ち点に審査項目ごと配分し、総合点の平均値をもって委員会の評価点とする。

評価点が60点以上得たものの中から、委員会の議決で決定した者を活用事業予定者とする。(応募事業者が1社の場合でも同様の手続とする。)

3. 活用事業予定者

(1) 活用事業予定者

応募事業者を活用事業予定者として決定できませんでした。

(2) 上記の理由

継立中学校跡地活用事業者選考委員会からの選考結果報告を基に、上記のとおり決定したものです。

※継立中学校跡地活用事業者選考委員会の選考結果報告(関係部分抜粋)

厳正な審査を行った結果、提案内容に対する評価点が60点に満たなかったことから、活用事業予定者の選考はできませんでした。

※審査結果(評価点)については、別紙のとおりです。

5. 選考委員会委員

委員長	花田 正博(副町長)
委員	飯尾 憲男(継立町内連合会 会長)
	喜多村茂広(継立町内連合会 副会長)
	伊藤 三也(継立商工振興会 会長)
	佐々木 学(建設総括兼建設水道課長)
	山本 信二(産業総括兼ブランド推進課長)
アドバイザー	上野 昌美(公認会計士)

継立中学校跡地施設活用事業予定者審査結果(評価点)

審査項目			配点	評価点		選考委員意見
				A社		
利活用について	基本理念・方針	利活用に関するビジョンが明確であり、応募者の熱意・意欲が感じられる提案となっているか	10	6.67	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ企業をはじめ取扱業務以外初めての業務内容の提案だが、各関連業者等から積極的に情報収集などを行い、実施に向けての一定の意欲が伺える。 ・「収益とサービスの相反する事柄の追及・地域社会への貢献」という基本方針の実践に向けた誠実さが感じられる。また、広域的な総合レジャー施設の展開など、将来展望を持った企業運営に期待する。 	
	事業内容	具体的かつ実現性の高いものであるか	15	6.00		
	事業スケジュール	計画的かつ適正なスケジュールであるか	5	1.00		
	小計(A)			30		13.67
運営体制について	運営形態・人員配置(雇用形態)	継続的かつ安定的運営に向けた実施体制であるか	10	6.00	<ul style="list-style-type: none"> ・他市の指定管理施設からの人員融通、また支配人配置や各業務における兼務体制の提案など、なるべく資金のかからない工夫がみられる。一方、勤務日数・時間の選択制が提案されているが、具体的な雇用計画及び収支計画(人件費)との整合性に疑問が残る。 ・プレゼンテーションにおけるヒアリングでは、運営中の指定管理施設の従業員も、本事業において相互活用をするとの説明もあったが、実際に指定管理施設側の人員を本事業実施時に必要配置が可能か否かは不透明の印象がある。 	
	雇用方針	人材育成や確保、地元雇用が期待できるものであるか	10	6.00		
	小計(B)			20		12.00
地域との関わりについて	交流や連携内容	地域との交流や連携が意欲的なものであるか(具体的な提案がなされているか)	10	6.00	<ul style="list-style-type: none"> ・地元、地域材料の活用、またPRを積極的に行う姿勢が評価できる。 ・ふれあい牧場における農業従事者との交流や、レストラン「おばあちゃんの食堂」開業に向けた地元高齢者採用など、地域との積極的な交流・連携に意欲的であり、一定の評価はできる。一方、近隣農家等への山羊・めん羊の飼養普及については、実現性の面で疑問が残る。 	
	地域防災への協力	地域防災への協力が意欲的なものであるか(具体的な提案がなされているか)	5	4.00		
	地域への配慮	地域の住環境・景観、環境負荷、安全・安心等に配慮したものであるか(具体的な提案がなされているか)	15	7.00		
	小計(C)			30		17.00
地域活性化への貢献について	地域資源の活用、定住人口の増加や雇用の創出など、地域の活性化につながるものであるか	10	6.67	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用状況に応じた従業員宿舎(一軒家・賃貸住宅)の確保について調査検討されているが、地域の定住人口増加に向けた具体的な提案がされていない。 		
			(D)			
事業収支計画について	安定的かつ適切な資金計画、収支計画であるか	5	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・レストラン・加工品販売等について、当面、材料は仕入れと思うが、資金計画での仕入金額が過少と思われる。 ・金融機関へのアプローチや補助金の具体的手段について現段階では不透明。 ・整備スケジュールや人員配置計画等との整合性や、各工事費において詳細の積算がされておらず、概算的な金額となっている。また、交付金や銀行借入金等の協議は行っているが、確約されたものではない。 ・5年間売上や支払いに変動はないということだが、初年度は年度途中からの事業開始であり、PR効果も限定的とならざるを得ない中で5年間同じとはならないのでは。 		
			(E)			
法人の経営状況について	経営状況(健全性、安定性)が十分であるか	5	2.00	<ul style="list-style-type: none"> ・他市の指定管理施設は、企業努力により黒字経営となっており、応募された「栗山継立ファーム(仮称)」との資金面の融通も検討されているが、両施設の老朽化対応資金の確保など、課題もあるのではないかと。 		
			(F)			
合計(A+B+C+D+E+F)			100	52.33		